

【太白小学校】

《本校の OJT キーワード》

15 分ミニ研修 OJT

学年部 OJT

校内研究 OJT

紙上 OJT



15 分ミニ研修「シンキングツールの活用」



学年部 OJT「リズム遊びの指導」

1 本校の OJT

2 OJT 実践

3 OJT 実践の振り返り

4 OJT に取り組んで

1 本校のOJT

- OJT の位置付け
「学校教育目標の具現化を図るための手立ての一つ」・・・4月の研究全体会で検討
「短い時間で」「日常的に」「これまでの取組の中で」・・・多忙化する学校課題を超えて
ベテランと若手の学び合い・・・職員構成が二極化する中、互いの学び合いの場の確保
実践的指導力に直結する学び合いの場・・・教えたい、教えて欲しいのマッチング
- 4つのOJT実践の場
「15分ミニ研修OJT」 「学年部OJT」 「校内研究OJT」 「紙上OJT」

ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**
- **共に学び合う関係**を築くために
 - ① 教えたいことアンケートの実施・・・全員がミニ研修の講師となるために
 - ② 授業検討会の工夫・改善・・・教育センター提案の五つの検討会スタイルから
 - ③ 教員のニーズ・必要感のある研修のリサーチ・・・ミニ研修への取り入れ
 - ④ 学び合いが生まれる話題提供・・・OJTの日常化へ向けて
- 教師一人一人の**振り返り**のために
 - ① **OJT年間シート**・・・ミニ研修の相互評価の場の設定
 - ② **学び合いカード**・・・ミニ研修終了後に参加者が記入、講師役の教員へ
 - ③ **OJT後の聞き取り**・・・互いのよさの認め合いと学び合う意識の向上を目指して

学び合いの意識化

- 自分なりの目標設定と定期的な振り返りによる目標と評価の一体化
OJT実践シートを活用して
- 一人1講座の設定による「何を伝えられるのか」の意識化
15分ミニ研修で全員が講師を担当することで
- 自分事としての授業研究による、次の授業につなげようとする意識付け
一人1授業公開と**授業検討会の工夫・改善**をとおして
- ミニ研修終了後の「**学び合いカード**」による、講師への励ましとねぎらい

2 OJT 実践

OJT キーワード

15分ミニ研修 OJT

- **職員会議ミニ研修**
 - ・ 職員会議の協議事項の少ない月に
 - ・ コンプライアンスに関する内容
 - ・ 講師は校長
 - ・ 信頼される学校づくりに努める意識を高める**【研修例】** 「いじめ撲滅」
「個人情報の適正管理」等

- **一人1講座ミニ研修**
 - ・ 16時45分から17時まで
 - ・ 全教員が一人1講座を担当
 - ・ 教えることができる内容と教えてほしい内容とのマッチング**【研修例】** 「理科実験の基本」
「学級通信の作り方」

- **ボトムアップミニ研修**
 - ・ 学ぶ必要のある内容についての意識調査をとおして
 - ・ 生活習慣の徹底，環境整備の仕方などを全校共通化
 - ・ 全教員が学校のスタンダードとして取り組む**【研修例】** 「全校一斉清掃の進め方」
「プール濾過器の使い方」等

- **トップダウンミニ研修**
 - ・ 教えることと学びたいこと以外にも必要な内容
 - ・ 教師として学ばなければならないスキル
 - ・ 講師は管理職**【研修例】** 「教師としての基本スキル」
「懇談会で気を付けること」等



職員会議ミニ研修「コンプライアンス」



15分ミニ研修「付箋紙による見える化」



ボトムアップミニ研修「全校一斉清掃の仕方」



トップダウン研修「学校の当たり前」

OJT キーワード

校内研究 OJT

- 一人1授業公開
 - ・全員が授業公開
 - ・研究組織は学年部単位
 - ・授業づくりから授業検討会まで授業者を支える
 - ・学年部以外の教員も誘って必ず検討会を行う
 - ・全校授業は学年部から一つずつ出して全員参加検討会
 - ・全員授業で研究を自分事として捉える
 - ・4月作成の年間計画による計画的実践



一人1授業公開

- 授業検討会の工夫・改善
 - ・教育センター提案の五つの授業検討会のモデルから
 - ・プロセスシート，ワークショップ形式，フリーカード法のほかに，マトリックス表の活用も
 - ・授業中に起きた事実を基にした話し合い
 - ・研究の視点についてだけではなく，日常の授業改善にもつながる話し合いに



プロセスシートを活用した「授業検討会」

- 研究ニュースの発行
 - ・学年部研究では，学年部以外の教員は授業・検討会の様子が分からない
 - 授業の様子や成果と課題を共有できるように
 - ・互いのよさを認め合いと課題の共有による学び合い
 - ・読んでもらえる紙面づくりの工夫

平成26年度
仙台市立太白小学校

校内研究ニュース

H.Itaebashi
2014.10.16 No.17

「確かに学び、伝え合う児童の育成」(3年次)
～国語科における言語活動の充実を通して～

■ 顧問先生の授業に学ぶ

10月9日(木)3校時に、顧問先生の全校授業がありました。本当は10月7日(火)を予定していたのですが、月曜日が、台風によるまぎかの臨時休校…。単元の2時間目を予定していたのですが、延期せざるを得なくなりました。しかし授業はご覧いただいたとおりです。イレギュラーな事態をもともしない児童の授業力、太白小のエースの方です。

■ 検討会での話し合いから

研究授業の経過と学期末が重なってしまったため、授業検討会は多くの先生方の出席がなくなってしまい、参加者が少なくなってしまったのが残念でした。少ない人数、60分間の短い時間という制約の中でしたが、ご参加の先生方のおかげで有意義な話し合いができました。

【効果】

- 通常関係 ～教師と子どもだけでなく、子ども同士でも互いを認め合う関係ができてきている。
- 教員の工夫 ～カタカナカードがポケットサイズ、音読する際的位置を表すレベルマークがいい。
- 構造的な声掛け ～ノリを止める際も、切り替える際も、否定語を避けて肯定語で指示している。
- 穏やかな支援 ～ねらう児童数がかさまりしているので、必要な支援があるか心配であること。
- 15分区切りの切り替え ～分割授業による集中力の維持が可能。趣意を変えることも効果的だった。
- 必要時に応じた支援 ～突然の事態にも、臨機応変に子どもに合わせることでできるしなやかさ。






【課題】

- 特別支援・交流等の運営体制
- 二人の個性の関わりに伴う今後の関係づくり
- 秘密基地が近い

【改善案】

- 交流学校と交流する場(時間・学習内容)を適切に設定していくとよい。
- 交流学校を活用して互いに認め合う雰囲気拡大を図る。
- 継続的に実態把握を怠り構やに行い、その時々で支援策を書き添えていく。
- ライトの設置

OJT キーワード

紙上 OJT

- 一斉の時間の拘束がない
- 読みやすい紙面づくりと読んでもらえる声掛け
 - ・ 研究ニュース
研究主任が発行（前ページ参照）
 - ・ 情報ニュース
情報主任が発行
校内 LAN 整備に伴う運用上の留意点や、ランニングコストの問題、情報モラル等についての情報提供
 - ・ その他
打合せ回数を週に一度で 15 分に精選
分掌ごとに作成・配付
指導に役立つ、共通理解が必要などの内容
【例】図書館通信，特活だより，代表委員会
だより 等

OJT キーワード

学年部 OJT

- いつでもどこでもできる OJT
 - ファシリテーターが働き掛け
 - 学年主任等に、子どもについての話題，授業の話題が多く出るよう依頼
 - 疑問が出たら，その場で始まる研修
- 【例】
- ・ リズム遊びの指導法からリズムセッション
 - ・ 学芸会で欠席児童の代わりに立て方

2014/07/09 **情報部ニュース 1** 文責 板橋 

平成 26 年度初めての情報部ニュースです。今年度は、今年度は嬉しいことに、校内 LAN の更新があります。これまで使ってきた Windows Vista は、何かと不都合の多い OS でした。これが Windows 7 になります。これからはさくさく快適にコンピュータを使えるようになることでしょう！

しかし、更新に伴ってやらなければならないことがいくつかあります。ちょっと面倒ですが、がんばりましょうね。

■ **更新期間**

○8月4日(月)～8月8日(金) この期間はコンピュータ使用不可。(本校7/31～不可)

■ **更新に伴う作業～個人作業編**

(1) データのバックアップ
コンピュータ本体に保存してあるデータを整理し、サーバーの共有フォルダがマイドキュメントに保存してください。特に気を付ける必要があるのが、次のものです。

- ① デスクトップに保存してあるデータ
- ② Cドライブに保存してある成績処理ソフトのデータ
- ③ 独自に導入したソフトウェアのデータ・設定

デスクトップとは・・・
和訳の通り、机の上のことです。机の上は一時的な作業場所です。たくさんの書類を積み上げておく場所ではありませんよ。たくさんの書類を積み上げる、つまりデスクトップに

情報ニュース

TEACHER'S 図書館通信 NO.8
仙台市立太白小学校 学校図書館部
2014. 9. 17

太白図書館の朝読書パッケージが回ります 2回目

1. **おらい** 「仙台市子ども読書活動推進計画第二次(平成24年3月仙台市教育委員会)」に基づき、仙台市図書館との連携を深め、児童の読書活動を推進する。
2. **方法** 低(40冊)、中(40冊)、高(40冊)ごとの図書パッケージを各学級に回し、教室で閲覧する。
3. **期間と日種**
8月17日(月)～18日(火)

図書館通信



いつでもどこでも学年部 OJT

3 OJT 実践の振り返り

OJT 実践内容

「理科実験・観察の基礎（ミニ研修）」

(H26. 6月実施)

振り返り方法と留意点

OJT 一覧・学び合いカード

○各学年における理科実験の基本スキルの一部を身に付けることができたか確かめる。

<有効性>

- ・学び合いカードによって、講師役の先生にも励ましの内容を伝えることができた。
- ・時間をかけずに一人一人が研修内容を振り返ることができた。

<今後の OJT に向けての課題>

- ・講師役の先生が評価されることを嫌がる傾向があった。
- ・学んだことを共通理解する場が設定できなかった。



理科室でのミニ研修

《先生方の声》

実験の時は事前準備を丁寧に行うとわかりやすいことをあらためて実感しました。優しい声掛け、大事ななと思いました。【20代 女性】

《先生方の声》

実際にやってみる大切さをあらためて感じました。気軽に参加できるのもいいと思いました。【20代 男】

第4問 小学校6年生

○今は、いつ？



- ① 早朝 ② 夕方
③ 真夜中 ④ これだけでは分からない

正解は・・・①

研修でのワークシート

《先生方の声》

顕微鏡の使い方が思ったよりも難しかったので、予備実験をこれからも大切にしていきたいと思いました。【30代 女】

3 OJT 実践の振り返り

OJT 実践内容

「シンキングツールの活用」(ミニ研修)

(H26. 8月実施)

振り返り方法と留意点

OJT 一覧・学び合いカード

- シンキングツールの活用法を理解できたか確かめる。
 - 授業におけるタブレットの有用性について自分なりの授業イメージを持つことができたか確かめる。
- <有効性>
- ・OJT シートは、時間をかけずに一人一人が振り返りを行うことができた。
 - ・学び合いカードは、講師の励みになり、学び合う意識が高まった。
- <今後の OJT に向けての課題>
- ・振り返った内容を共有する場がなかった。



シンキングツールのミニ研修の様子



《先生方の声》

タブレットはいろいろな場面で生かせることを知って、有意義な研修でした。まずは電子黒板から挑戦してみたいと思います。【50代】

《先生方の声》

初めて知るシンキングツールやタブレットをアプリを学び、勉強になりました。デジタルツール避けずに、効率的な授業づくりに取り組んでいきたいです。【20代 女】

《先生方の声》

総合的な学習の時間の概念図に利用できると思いました。XチャートやYチャート、クラゲチャートなどが楽しいと思います。【40代 男性】

3 OJT 実践の振り返り

OJT 実践内容

高学年部全校授業（校内研究）

（H26. 8月実施）

振り返り方法と留意点

授業検討会・研究のまとめ

○フリーカード法による授業検討会をとおして、高学年部の研究の視点が本時のねらいに対して有効だったかを、授業中に起きた事実を基に確かめる。

○個人の振り返りシートと学年部研究のまとめをとおして、一人一人の一年間の授業の成果と課題、次年度への目標を明確にする。

<有効性>

- ・授業中に起きた事実を参観者の見取りをとおして振り返ることで、授業者自身の気づきを促すとともに、参観者は授業者の語りから成果と課題を学ぶことができた。

- ・発言権がカードで保障されているので、全員の見取りを共有し認め合うことができた。

- ・研究授業だけでなく、1年間の授業実践をとおした自分の成長と課題を確かめるとともに、学年部ごとの視点について検証することができた。

<今後の OJT に向けての課題>

- ・一人の発言回数が少ないので、すべてを伝えられずに満足できない教員がいた。

《先生方の声》

もっとたくさんほめてあげたいことがあったのに、十分に話すことができませんでした。別の検討会スタイルの方がいいと思います。【40代



全校授業の様子



フリーカード法による検討会

《先生方の声》

参観者の見取りを全員でカードを使って整理していったので、授業のよかった点や課題だった点に気付くことができました。【20代



授業検討会の様子

4 OJTに取り組んで

成果

- 学び合う職員室文化が醸成され、教員の同僚性が高まり、日常的な学び合いが生まれるようになった。初任層はベテランのもっている優れた指導法や校務の進め方について学び、ベテランは初任層に積極的にアドバイスを送るようになった。
- 一人一人が進んで学ぼうとする意識が高まった。ミニ研修の講師を分担することで、自分が同僚に教えることができることは何かを考えるようになった。同僚が行う質の高い研修内容から、多くの教員が自分もしっかり学ばなければならないと感じていた。
- 評価されることに抵抗感を感じていた教員も、「学び合いカード」によって効力感が生まれた。分からないことがあったときには進んで同僚に聞き、困っている教員には積極的に声を掛けるようになった。
- 「OJT実践シート」「OJT一覧」「学び合いカード」などで振り返ることで、一人一人が自分のよさに気付くとともに、課題を意識して改善しようとする意識が高まった。

《先生方の声》

経験年数が長いので、これまでの経験を頼りに指導してきたが、OJTをとおして若手の教員を意識するようになり、研究や日々の実践をしっかりと行おうと思うようになった。【50代女】

《先生方の声》

辞書の使い方や情報機器の活用など、すぐに生かせる内容だったの實踐に役立った。年上の先輩教員の話も大変勉強なことばかりだった。【20代女】

今後に向けて

- 学年会 OJT や紙上 OJT などは時間設定の必要がないので機動的に推進することができたが、15分ミニ研修は時間の確保が難しかった。臨時の会議や生徒指導対応等によって順延せざるを得ないことが多かった。長期休業中に集中して設定するなどの工夫が必要である。
- 一人一人の振り返りの内容を、教員全員で共有することが難しい。学び合いの意識が高まり、同僚性が構築されても、それを互いに確かめ合う場が確保しにくい。「学び合いカード」を全員で回覧するなど、成果を共有し合う工夫が必要である。

◆OJT学び合いカード◆ ※ 今後の自分の実践に生かしたいこと ※ 講師への温かいメッセージ などをお書きください。	記入者「 」
知ってるけど知らなかったことを / 分かりやすく 教えてほしいだけなのではないか? 教えてもらう というより みんなで 取組む時間を作るほうが いいかな 先生 これは貴重だと思いました	
※「幸せは、いつも自分の心が決める」相田みつを どんな内容でも、誰が行っても、学べることは必ず見つかるはず。何を学べるか聴きましょう。	
■ OJTについて、ご意見・ご要望等ありましたらお書きください。 自分はどうしようかと考えてましたか 気楽にやりたかったです	

OJT 学び合いカード